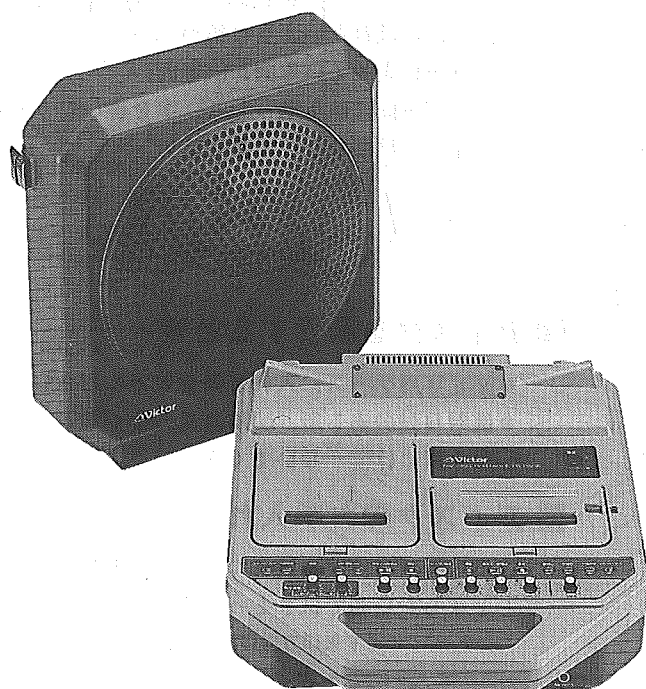




PAE-350

ポータブルPAパック



目次

取扱い上のご注意	②
安全上のご注意	③
ご使用の前に	③
各部の名称と働き	④, ⑤
接続ジャック部の名称と働き	⑤
CDを演奏するには	⑥, ⑦
テープを演奏するには	⑧
録音をするには	⑧
有線マイクで放送するには	⑨
ワイヤレスマイクで放送するには	⑩
チューナーユニットの組み込み方	⑩, ⑪
故障かな?と思う前に	⑪
保証とアフターサービスについて	⑪
主な仕様	裏表紙

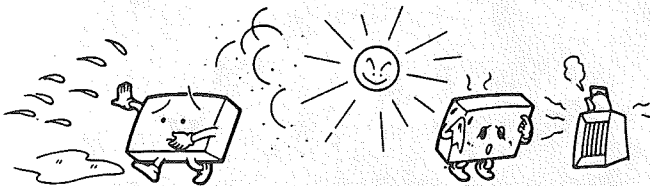
—お買い上げありがとうございます—

ご使用の前にこの“取扱説明書”をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、大切に保存してください。

取扱い上のご注意

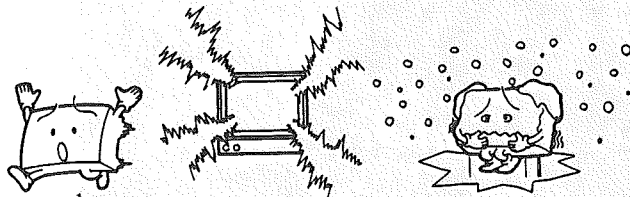
■使用（設置）場所の環境について

- 故障などを防止するため次の場所は避けてください。



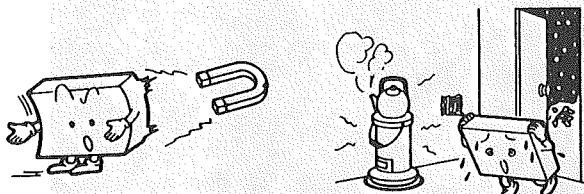
湿気やほこりの多い所。

長時間直射日光が当る所や暖房器のそば等の周囲温度40℃以上の所。



アンプやテレビのすぐそば、不安定な所。

極端に寒い所。



磁気が発生する所。
振動の激しい所。

寒い所から急に暖かい部屋への移動。

■露がついたら

次のような場合、本機のレンズに露（水滴）がついてCDプレーヤーが正しく演奏できないことがあります。

- 暖房を始めた直後の部屋
 - 湯気や湿気の多い所に置いてあるとき
 - 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき
- 電源を入れ、約1～2時間待ってからお使いください。

■テープ等は近づけないで

スピーカーは磁石を使用しています。スピーカーにテープを近づけないでください。

■他のチューナーやテレビから離して

CDプレーヤーを演奏すると雑音や画像の乱れが生じることがあります。

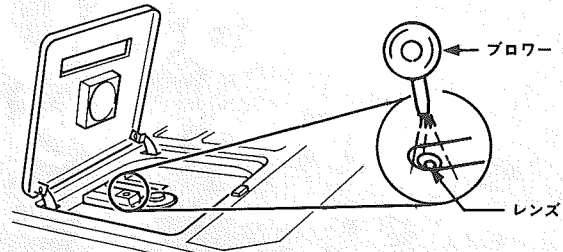
できるだけ離してお使いになるか、離してもだめなときは電源スイッチを切ってください。

■ワイヤレスマイクの到達距離は

到達距離は50cm高の台上で見通し距離、約40mです。ご使用の時はできるだけ高い台の上に置いてください。又チューナーを2台同時に使用する場合は干渉を避ける為、ワイヤレスマイクは本体から1m以上離れてお使いください。

■ほこりに注意

- CDプレーヤーのレンズにほこりがつかないようにCDプレーヤーのフタは必ず閉じておいてください。またレンズには手を触れないでください。
- レンズの清掃は市販のレンズクリーニング用ブローアを使ってゴミをはき出してください。



■CD（コンパクトディスク）は

CD（コンパクトディスク）は図のマークが入ったものをご使用ください。

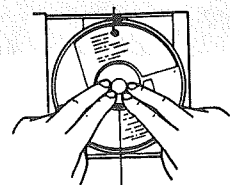
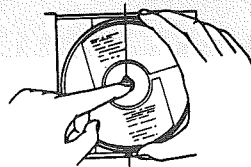


■取扱い上のご注意

- ケースからの出し入れ

センターホルダーを押さえ、演奏面に触れないように持って出す。

レーベル面を上にして、上から押さえて入れる。



- 演奏面に触れないように持つ。
（虹色に光っている面が演奏面）
- レーベル面に紙を貼ったり、字を書いたりしない。
- ディスクは曲げないでください。



■ディスクを保管するとき

- 必ず専用ケースに入れて保管してください。
- 直射日光の当る所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所には置かないでください。

■ディスクのお手入れ

演奏する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布で拭きとってください。

ディスクは必ず矢印方向に拭いてください。



必ず内側から外側へ

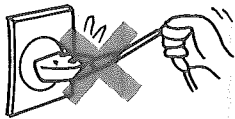
- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーやスプレー静電防止剤は絶対に使用しないでください。
- 別売りのCD用クリーナーCK-25型をお使いになりますと手軽にクリーニングできます。

安全上のご注意

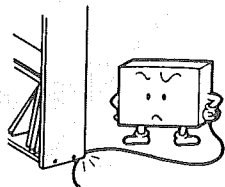
■ 電源コード・プラグの取扱い

- 電源コードを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。

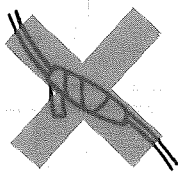
コードを引っ張ったりぬれた手でさわるとショートや感電の恐れがあります。



- 電源コードの上に重い物をのせないでください。コードに傷がついて火災や感電の原因になります。



- 電源コードの継ぎ足しは、火災や感電の原因になります。電源コードやプラグの修理は販売店にご依頼ください。



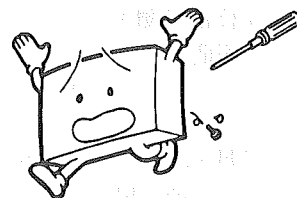
■ 電源コードリールの取扱い

電源コードはストップのマークが現われたらそれ以上は引き出さないでください。断線など故障の原因となります。

また、無理に押し込まないでください。

■ セットの内部に触れることは、危険なうえ故障の原因となります。

内部の点検・調整は販売店にお任せください。



◆ 本機は日本国内専用です、必ず商用電源 AC100V, 50Hz/60Hz でお使いください。

ご使用の前に

スピーカークーブル用巻き枠

4ヶの巻き枠にスピーカークーブルを巻いて収納できます。スピーカークーブルと本体を離してご使用のときは、この枠からケーブルをはずし約10mまで延ばせます。

ワイヤレスマイク 収納スペース(1本)

WM-P87 (別売) に付属のケースへ入れて収納できます。

スピーカークーブルの開け閉めの時には、このバックルを持ってフタの上げ下ろしを行なうと安全に開け閉めできます。

スピーカークーブルプラグ
十分に奥まで差し込んでください。

電源コード取り出し口

電源コードを本体からまっすぐに出してください。引くのをやめると、そこでロックします。戻すときは少し引くとリールに巻き取られて収納できます。

ご注意

ご使用の時は必ず、スピーカ部を開けるか、又は離してください。本体は水平でご使用ください。

注意 マークの位置以上に引き出さないでください。故障の原因になります。

各部の名称と働き

●ワイヤレスチューナー組み込み部

別売りワイヤレスチューナーユニットを2台(2波)組み込みます。
⇒10ページ

●スピーカー出力

スピーカーコードプラグは十分奥まで差し込んでください。コードをいためないためにプラグを持って抜き差ししてください。

●CD操作ボタンと演奏表示

- 再生/一時停止 (▶/||)
- 停止 (■)
- 選曲 (+、-)
「ポン」と押すと選曲/押し続けると早戻し、早送り
- 再生/一時停止表示ランプ
演奏中に点灯し、一時停止中に点滅します。
⇒6ページ

●CD表示窓

ディスクを入れた最初の状態では総曲数を表示します。選曲ボタン(+、-)を押すと、次に演奏するトラックナンバー(曲番号)を表示します。演奏中はトラックナンバー(曲番号)が表示されます。
⇒6、7ページ

●メモリーリプレイボタンと表示ランプ

演奏中の好みの位置をメモリーしたいときに使います。
⇒7ページ

●一曲演奏ボタンと表示ランプ

一曲のみ演奏し、停止させたいときに使います。
⇒6ページ

●CD再生速度つまみ

CDプレーヤーの再生速度を調節します。通常は中心のクリック位置で使います。時計方向(右)に回すと速くなり、逆に回すと遅くなります。(±10%)

●テープ再生速度つまみ

カセットデッキの再生速度を調節します。中心のクリック位置で標準速度になります。時計方向(右)に回すと速くなり、逆に回すと遅くなります。(±15%)

●シンクロ録音ボタンと表示ランプ

CDをカセットに録音するときに使います。
⇒7ページ

●主音量調節つまみ

スピーカ音量を調節します。ライン出力を調節する時にも使います。通常は最大にします。

●受信表示ランプ

ワイヤレスマイク受信中に点灯します。
⇒10ページ

●音量調節つまみ

- CD
- テープ
- 外部入力
- マイク1
- マイク2/ワイヤレス2
- ワイヤレス1

表示されている機器の音量を調節します。

●ご注意

- 使用していない音量つまみは、最小に回しておいてください。

●電源コード引き出し口
プラグをつかんで引き出してください。⇒3 ページ

●電源スイッチ

●テープカウンター
テープの走行量を表示します。
●リセットボタン
押すとテープカウンターが“000”になります。メモリーリプレイ時の頭出し位置となります。
⇒9 ページ

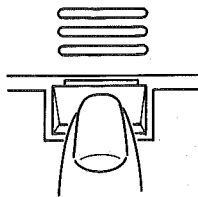
●一曲演奏ボタンと表示ランプ
⇒9 ページ

●メモリーリプレイボタンと表示ランプ
⇒9 ページ

●操作ボタン
○ 録音ボタン
▶/|| 再生/一時停止ボタン
◀◀ 巻戻しボタン
▶▶ 早送りボタン
■ 停止ボタン
⇒8 ページ

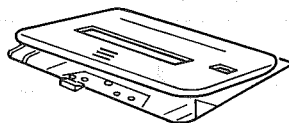
●CDフタの使い方 ●カセットテープフタの使い方

①



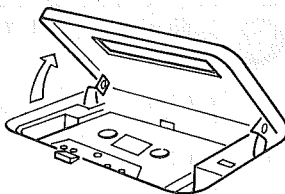
ロックボタンを軽く押します。

②



一段目が
軽く開きます。

③

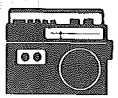


ロックするまで
手で大きく開けてください。

④ 閉める時はロックするまでフタの中央手前を指で押してください。

接続ジャック部の名称と働き

●ラジオセ入力(ステレオ用ミニジャック)
ラジオカセットなどの出力を接続します。モノラルになります。(0 dBs, 10k Ω , 不平衡)



●有線マイク入力1, 2 (複式フォノジャック)
有線マイクを接続します。
(-56dBs, 1k Ω , 電子平衡)



ご注意

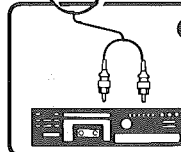
1台のカセットデッキの入力と出力を同時に接続しないでください。

●ライン出力(標準フォノジャック)
増設用アンプなどに接続します。
(0 dBs, 200 Ω , 不平衡)



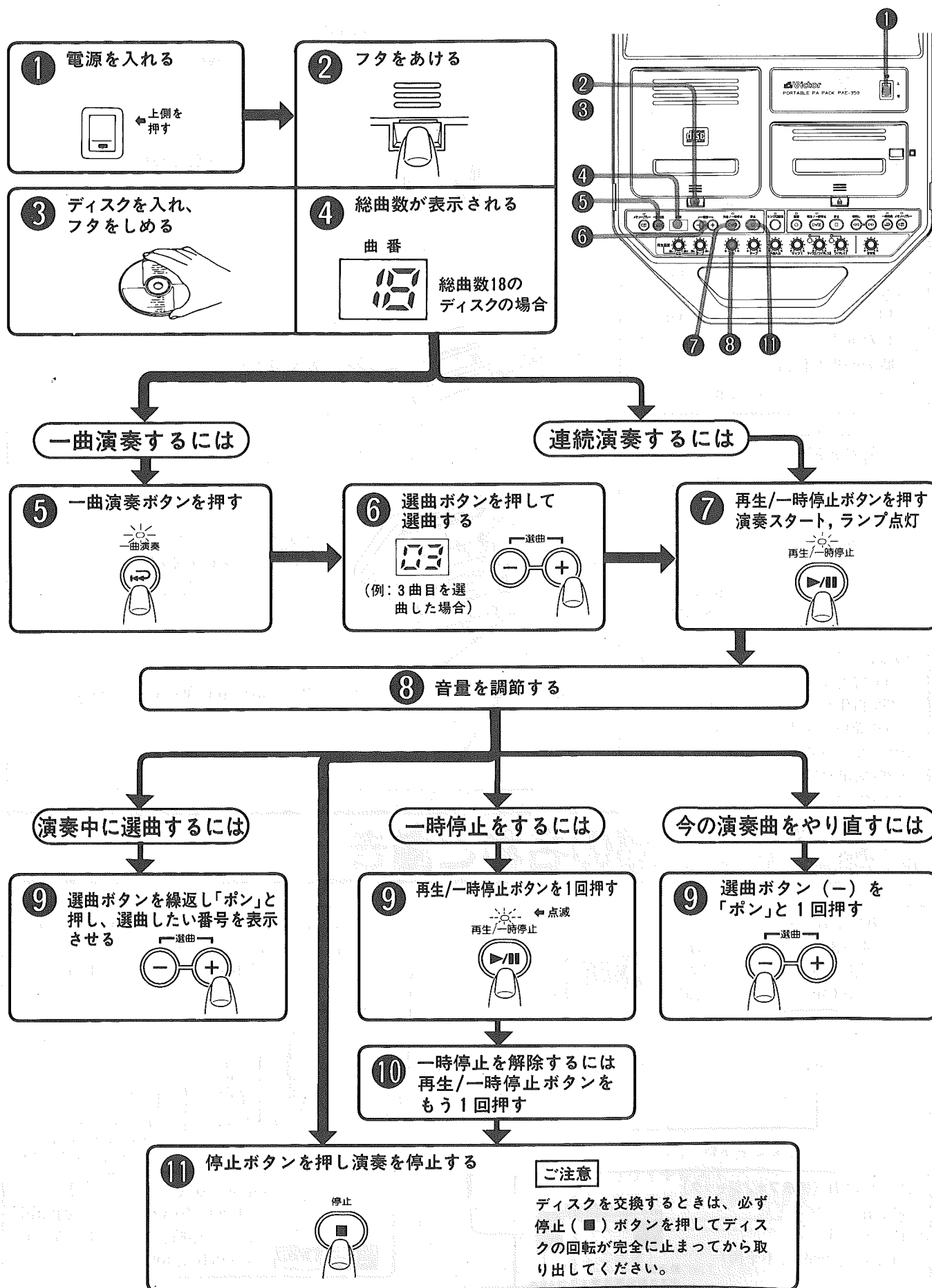
放送室
デスク型音響装置またはAV卓
ステレオ機器に接続するときは、複式フォノプラグを用いL, Rへ同じ音声を送ることができます。

●外部入力(ピンジャック)
カセットデッキなどの出力を接続します。この時、モノラルになります。
(-10dBs, 10k Ω , 不平衡)



CDを演奏するには

—番号順に操作します—



便利な使い方

■サーチ演奏

●演奏中に早送りや早戻しをすると好みの位置を探すことができます。

- 早送りする時は選曲の⊕ボタンを押し続けます。
- 早戻しをする時は選曲の⊖ボタンを押し続けます。このとき早戻しや早送りの音が小さな音（演奏中の約1/4の大きさ）で聞こえますので、この音をモニターしながら希望のところで指を離します。

■メモリーリプレイ演奏

●好みの位置から何回も演奏するには……

- (1) 再生/一時停止ボタン(▶/■)を押し演奏します。
- (2) 繰り返し聞きたい好みの位置にきたらメモリープレイボタン(◀▶)を一度押します。

〔表示ランプが点灯します。〕

- (3) 停止ボタン(■)を1回押し、停止してから再生/一時停止ボタン(▶/■)を押すとメモリー位置から演奏されます。

また、演奏中にすぐリプレイしたい場合は再生/一時停止ボタンを2回押します。

- (4) メモリーの解除は、メモリープレイボタン(◀▶)をもう一度押してください。通常の演奏状態に戻ります。

〔表示ランプは消灯します。〕

■シンクロ録音

●CDの音だけをカセットテープへ録音するときには、シンクロ録音機能でCDとテープが同時にスタートし、録音できます。

- (1) カセットテープとCDをセットし、「シンクロ録音」ボタンを押します。

⇒ シンクロ録音表示が点灯します。

再生/一時停止表示が点滅します。

- 1曲目以外から録音する時は、選曲ボタン(⊖ ⊕)で選曲する。(シンクロ録音の時も「一曲演奏」が利用できます。)

これで準備OK。

- (2) 点滅しているテープの再生/一時停止ボタン(▶/■)を押します。

⇒ 再生/一時停止表示が点灯に変わり、録音が始まります。

- (3) テープの「停止」ボタンを押して、録音を終了します。

⇒ シンクロ録音表示も消え、録音は終了します。

お願い



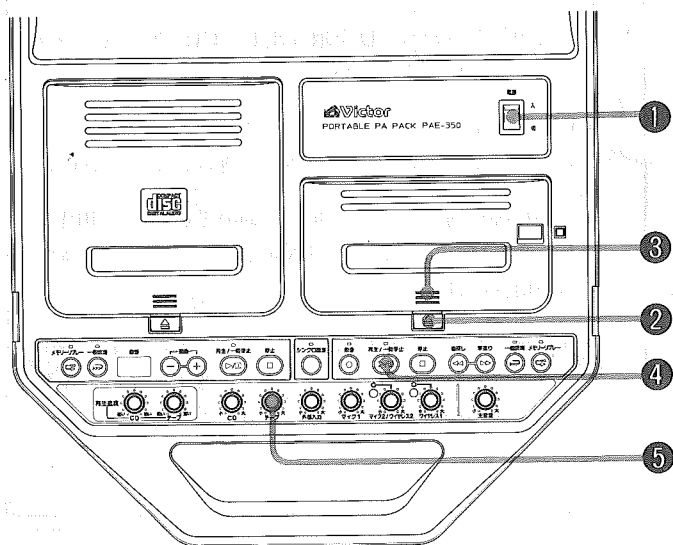
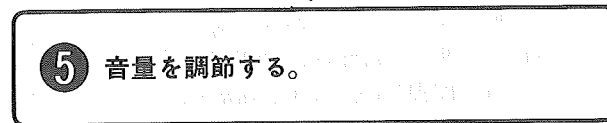
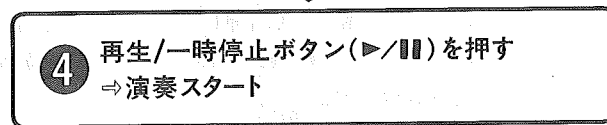
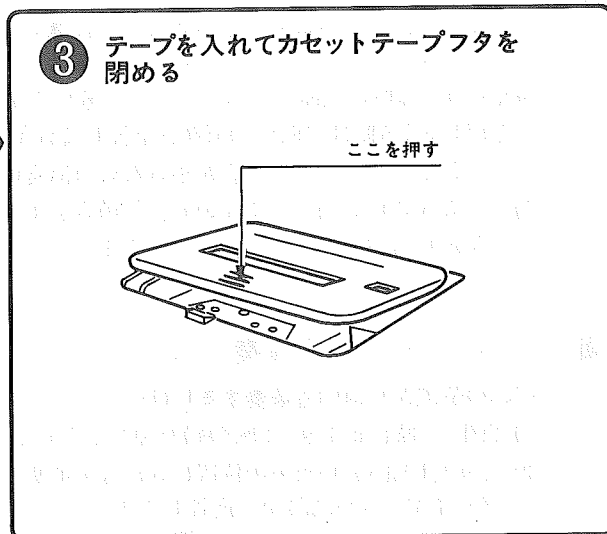
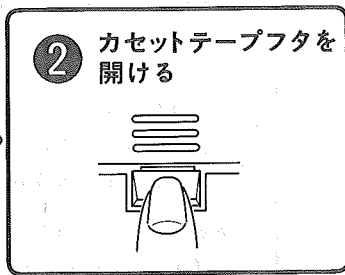
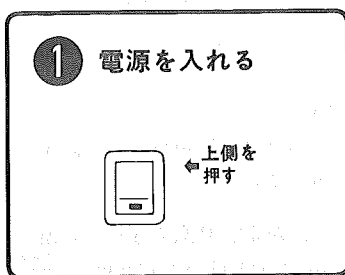
- CDにゴミやキズが付いていたり、裏表を逆に入れたときは、図のように表示されることがあります。このようなときはディスクの裏表を確かめて入れ直しか、清掃したり交換してみてください。
- CDを演奏するときは、温度があまり高くならない所（なるべく5℃～35℃の範囲）でお使いください。またCD操作部は必ず平らに置いて使用してください。
- 演奏が終わったらCDを取り出し、CDプレーヤーフタを閉めておいてください。
- CDの内容によっては音とびを起こすことがあります。このようなときは、スピーカーを遠ざけてください。
- 本機に強い衝撃を与えたり、振動の多い所で使用すると、音とびを起こすことがあります。このような所での使用は避けてください。
- 曲を選曲してから曲の頭を見つけるまでは表示窓のトラックナンバーは点滅しますので、選曲ボタンを押したとき表示が消えている場合があります。

ご注意

- シンクロ録音は、必ずテープの再生/一時停止ボタンで行なってください。CDの再生/一時停止ボタンを押すと、シンクロ録音は解除され、通常演奏状態になります。
- CD演奏をカセットテープに録音するときは、CD再生速度つまみが働きます。標準再生速度で録音される時は、必ずCD再生速度つまみを中心のセンタークリック位置にしてください。
- シンクロ録音ではCD以外の音声は録音できません。

テープを演奏するには

—番号順に操作します—



ご注意

- クロームテープやメタルテープ、またドルビー等の雑音低減回路を使用して録音されたテープを再生すると聞きづらい音になりますので、使用しないでください。
- 120分以上のテープは薄くつくられており、ピンチローラに巻きつく恐れがありますので使用しないでください。

■演奏を停止するには

停止ボタン(■)を押してテープを止めます。

■演奏を一時停止するには、

再生/一時停止ボタン(▶/■)を押します。

テープは一時停止し、再生/一時停止表示ランプが点滅します。

さらにもう一度押すとテープがスタートし、演奏を再開します。

録音をするには

—目的の入力以外の音量調節つまみは必ず最小にしてください—

- ① テープはノーマルテープを使用します。
- ② 録音する入力の音量調節つまみを12～3時の間まで回します。
- ③ 録音ボタン(●)を押すと録音準備状態になります。(録音ランプ点灯。再生/一時停止表示ランプ点滅)
- ④ 再生/一時停止ボタン(▶/■)を押すと録音が始まり、再生/一時停止表示ランプが点灯します。
- ⑤ 主音量ボリュームでモニタ音量を調整してください。

■シンクロ録音

[CDの音をカセットテープに録音するときに便利です。]

- CDのシンクロ録音の項目(7ページ)を参照してください。

便利な使い方

■ 頭出し 曲の頭出しを行います。

- ① 今聞いている曲の頭出しをする。
再生中に巻戻し(◀◀)ボタンを押す。
- ① 次の曲の頭出しをする。
再生中に早送り(▶▶)ボタンを押す。
- ② 頭出しができると自動的に再生が始まります。
★何曲か飛び起したい時は①, ②を繰り返します。

■ メモリーリプレイ演奏 同じところからくり返し聞けます。

- ① メモリーリプレイボタン(◀▶)を押すと表示ランプが点灯します。
- ② 再生/一時停止ボタン(▶/||)を押して演奏します。
- ③ メモリーリプレイの開始位置でカウンターのリセットボタンを押して"000"にします。
- ④ 停止ボタン(■)を押してから巻き戻しボタン(◀◀)を押します。
カウンターの数字が"999"になると、再び再生が始まります。
- ⑤ メモリーリプレイボタン(◀▶)をもう一度押して終了します。[表示ランプは消灯します。]

ご注意 メモリーリプレイ時早送りボタンを押すと早送り状態になり、カウンタが"999"になっても再生状態にはなりません。

■ 一曲演奏 同じ曲がくり返し聞けます。

- ① 一曲演奏ボタン(↺)を押すと表示ランプが点灯します。
- ② 再生/一時停止ボタン(▶/||)を押して演奏します。
- ③ 曲の終りになると自動的に巻き戻して、その曲の頭出しを行い、停止します。
- ④ 再生/一時停止ボタン(▶/||)を押して演奏します。
- ⑤ 一曲演奏ボタン(↺)をもう一度押して終了します。
[表示ランプは消灯します。]

お手入れ

○ヘッド部・ピンチローラー・キャプスタン の清掃について

- ヘッド部とキャプスタン・ピンチローラーは常にテープが接触して走りますから、磁粉やゴミ、ホコリなどが付着してよごれてきます。

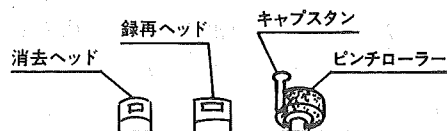
よごれがひどくなると

- 音質が悪い。
- 音が小さい。
- 録音ができない。
- 前の音が消えないで残る。



などの症状がでます。大切な録音を失敗しないためにも症状がでてくる前に、定期的(約10時間使うごと)にヘッド部を清掃してください。

- カセットホルダーを開け、クリーニングキットでヘッド部やピンチローラー・キャプスタンの清掃をします。



綿棒にクリーナー液をしみ込ませヘッドやピンチローラー・キャプスタンなどのよごれを拭きとります。なお、内部についたクリーナー液が十分に乾いてからテープをセットしてください。

- ご注意** 次のような場合、頭出し、一曲演奏が正常に動作しないことがあります。故障ではありません。
- ・音楽でピアノシモの部分(音が非常に小さい部分)が長く続く曲や、曲中に無録音部分があるものやスピーチのテープ
 - ・曲間(無録音部分)が短い(4秒以下)テープ
 - ・曲間(無録音部分)に大きな雑音(ハム)が録音されているテープ

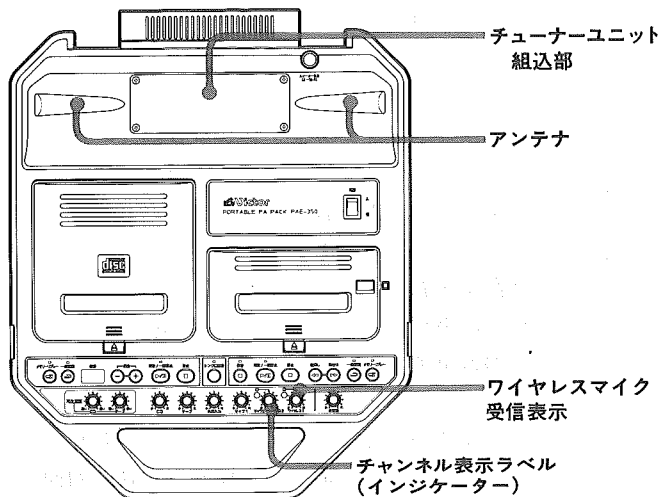
有線マイクで放送するには

- ① 電源を入れます。
 - ② 有線マイク1に有線マイク2に、マイクのプラグを差してください。
 - ③ マイクを接続した音量調節つまみを回して適切な音量にしてください。
- ★有線マイク2を接続するとワイヤレスマイク2は使用できなくなります。

お願い

マイクロホンとスピーカーの距離を離してください。お互いに近くでお使いになりますと、ハウリング(キーンという発振音)が起きやすくなります。

ワイヤレスマイクで放送するには



ご注意

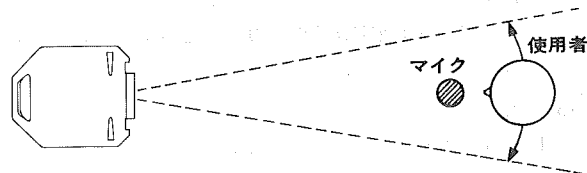
- 本機のすぐ近くに電気雑音が発生する機器がありますとワイヤレスマイクの音がとぎれることがあります。このようなときはワイヤレスマイクと本機を近づけるか、本機の設置場所を変えてお使いください。
- 屋内等でワイヤレスマイクを移動しながら使用しますと、電波の反射や干渉によって急に音がとぎれる場所があります。これをデッドポイントといいます。デッドポイントを解消するためには本機を金属製の机、ロッカー等から離すか、設置場所を1m～2m移動してください。

■ ワイヤレスマイクをご使用の前に

- ワイヤレスマイクを使用するには、別売りのワイヤレスチューナーユニット "WT-UD80" 又は "WT-U73B シリーズ" の組み込みが必要です。ワイヤレスチューナーユニットの組み込みは販売店もしくはビクターサービス窓口へご相談ください。
- ワイヤレスマイクの送信チャンネルとチューナーの受信チャンネルを合わせてください。(WT-UD80)

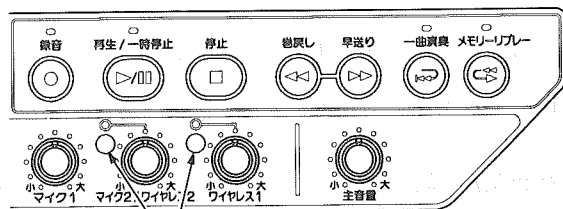
■ ワイヤレスマイクの使いかた

- ワイヤレスマイクと本体の向きは図の状態が最良です。

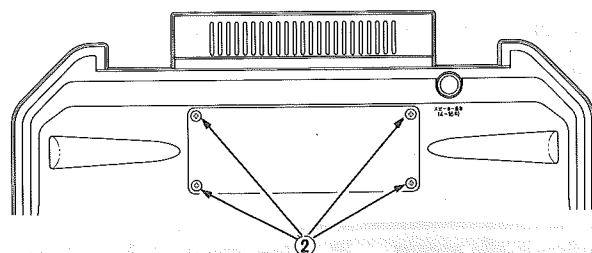


ワイヤレスチューナーユニットの組み込み方

- 事故防止のため、必ずお買い上げの販売店もしくはビクターサービス窓口へご依頼ください。
- チューナーユニットを組み込む時は、必ず電源コードを抜いてください。ショートや感電の恐れがあります。

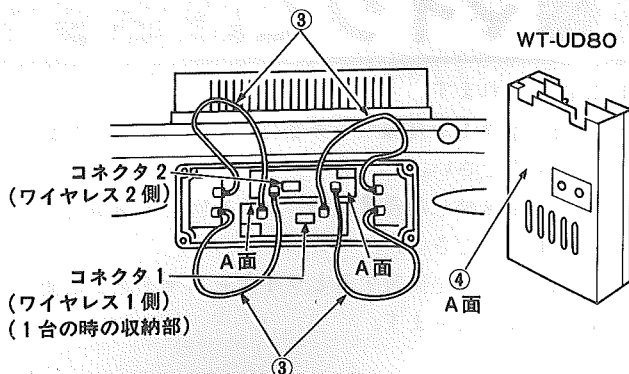


① チャンネル表示ラベル(インジケーター)



■ WT-UD80(ダイバシティタイプ)を組み込む時

- (1) チューナーユニットの取扱説明書に従ってチャンネルを合わせる。(2台の時は同グループの異なるチャンネルへ合わせる。)
- (2) チャンネル表示ラベルを本体の①の場所へ貼る。
- (3) チューナーユニット組込部フタのネジ4本②をはずして開ける。
- (4) チューナーに添付のアンテナケーブル2本③を1台のチューナから左右のアンテナ基板の端子へ接続する。
- (5) チューナーユニットをアンテナ端子が内側を向く(④A面が合わされる)方向で、収納部へ差し込む。
- (6) 各チューナーユニットの信号端子へ、コネクタ1, 2をつなぐ。
チューナーを1台だけ組み込む時は手前の収納部へ納め、コネクタ1(ワイヤレス1側)をチューナーの信号端子へつなぐ。
- (7) 正しく受信することを確認し、フタを閉める。



■ WT-U73Bシリーズ(シングルタイプ)を組み込む時

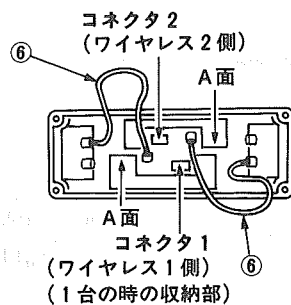
(2), (3), (7) は、WT-UD80 と同じ作業をする。

(4) 本機に添付のスペーサを⑤のようにチューナの底に貼る。

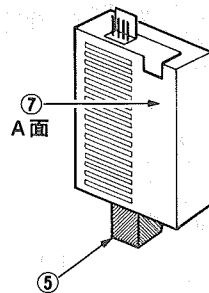
(5) 各チューナユニットからそれぞれ⑥のように左右のアンテナ基板の端子(2コのうちどちらでも可)へ接続する。⑦A面を内側にして収納部へ差し込む。

(6) 各チューナユニットの信号端子へ、コネクタ1, 2をつなぐ。1台の時は手前の収納部へ納め、コネクタ1を信号端子へつなぐ。

●コネクタ1, 2をはずす時は、必ずロックのツメを横へ引きながら白いコネクタ部を上方へ引き抜きます。



WT-U73Bシリーズ



故障かな?と思う前に

— おや? 故障かな? と思ったら……
修理を依頼される前にちょっとお確かめください。

症 状	原 因	処 置・確 認 の し か た	参 照 ページ
電源が入らない	●電源コードが抜けている。	●電源コードを確実に差し込む。	—
テープの再生音が小さい。	●録音レベルが小さい。	●各音量つまみをセンター以上に回し録音する。	8
	●ヘッド部が汚れている。	●ヘッド部を定期的に清掃する。	9
テープに録音できない。	●カセットの誤消去防止用ツメが折れている。	●誤消去防止用ツメ付きのカセットテープをご使用ください。	—
CDが演奏されない。	●ディスクが裏返しになっている。	●レーベル面が上になるように正しくのせる。	2
	●ディスクが汚れている。	●柔らかい乾いた布で演奏面を清掃する。	2
	●レンズに露がついている。	●電源を入れ、約1～2時間待つ。	2
スピーカーから音が出ない。又は小さい。	●スピーカーコードが抜けている。	●スピーカーコードを確実に差し込む。	—
	●主音量調節つまみが絞ってある。	●主音量調節つまみを右に回す。	—
有線マイクの音が出ない。	●マイクコードが抜けている。	●マイクコードを確実に差し込む。	—
ワイヤレスマイクの音が出ない。 (別売の専用ワイヤレスチューナーユニットを内蔵した場合。)	●適合ワイヤレスマイク以外を使用している。	●適合ワイヤレスマイクを使用する。	—
	●マイクとチューナーのチャンネルが合っていない。	●マイクとチューナーのチャンネルを合わせる。	—
音が歪む	●入力音量調節つまみが大きい。	●入力調節つまみを下げて、主音量調節つまみを上げる。	—

保証とアフターサービスについて

■ 保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には、保証書を別途添付しております。保証書はお買上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

●保証期間について

保証期間は、お買上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買上げ販売店が修理します。

その他詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客さまのご要望により有料にて修理致します。

■ 修理を依頼されるときは

修理を依頼されるときは、お手数でももう一度、各部の接続、つまみの位置についてお調べください。それでも具合が悪いときは、電源スイッチを切って次のことをお知らせください。

- 機種名: PAE-350 及び保証書に記載の製造番号
- 故障の状態をできるだけ詳しく
- ご購入年月日
- ご住所・ご氏名・電話番号

■ アフターサービスについてのお問い合わせ先

その他アフターサービスについてご不明の点は、お買上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧ください。え、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

本機の仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。

1dBs=0.775V

最大出力	25W (定格出力15W)
スピーカー	20cmメカニカル2ウェイ、4Ω
周波数特性	50Hz～15kHz (外部入力、定格より-10dB出力時)
歪率	5%以下 (外部入力、1kHz、定格出力時)
入力回路	マイク×2：-56dBs、1kΩ電子平衡、複式フォノジャック 外部入力×1：-10dBs、10kΩピンジャックL、R (モノラル) ラジカセ入力×1：0dBs、10kΩ複式ミニジャック (モノラル)
出力回路	スピーカー：+20dBs (15W)、4Ωフォノジャック (モノラル) ライン出力：0dBs、200Ωフォノジャック (モノラル)
CDプレーヤー	再生/一時停止、停止、選曲 (+/-) 早送り、早戻し、1曲演奏、シンクロ録音 メモリーリプレイ、 速度微調節 (±10%) 機能付
カセットレコーダー	2トラックモノラル、2ヘッド (録音再生、消去) 方式 再生速度微調節 (±15%)、AGC録音、頭出し、一曲演奏、 メモリーリプレイ、フルオートストップ機能付
ワイヤレスチューナー (別売)	専用チューナーユニットWT-UD80 又は WT-U73Bシリーズを2台組み込み可
電源	AC100V、50/60Hz
消費電力	⊕28W
外形寸法	幅354×高さ222×奥行433mm
質量	7.5kg (チューナーユニットを除く。)
動作温度	+5℃～+40℃

添付物

取扱説明書..... 1
ビクターサービス窓口案内..... 1
保証書..... 1
スペーサ..... 2



お客様ご相談センター

〒113 東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル 電話 (03) 5684-9311

〒543 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル 電話 (06) 765-4161

特機事業部

〒192 東京都八王子市石川町2969-2 電話 (0426) 60-7243 (ダイヤルイン)